

地域を結ぶ ふれあいネット

富士見台 みんなの新聞

◎ 発行：富士見台地区協議会
 ◎ 発行責任者：竹口 裕
 ◎ 連絡先：042-482-3012
 ◎ 発行日：平成 30 年 3 月


地域の出来事

9月 都の防災訓練



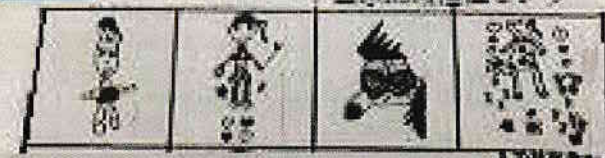
無事旗訓練も
行いました。

11月防災訓練



防災倉庫には何があるのかな？

11月 下石原地区ふれあいのつどい



運営・・・下石原地区ふれあいのつどい実行委員会
 主催・・・社会福祉法人 調布市社会福祉協議会

協力 多摩川自治会 多摩川親交自治会
 多摩川三丁目自治会 小島町第9自治会
 多摩川清流会 調布あけぼの 藤芳会
 小島町親友会 調布市民生児童委員協議会
 高齢者食食ボランティア
 双葉保育園 レイモンド保育園
 カフェ大好き 旭出園布福社奉新 よつば会

7月 盆踊り



富士見台小の
健全育成委員会が
総出で運営。



多摩川自治会の
主催で場所は京王
多摩川駅前です。

8月夏季安全パトロール



初日は地区協で、
その後は各自治
会で行いました。

調布が「40代が住みたい街」に選ばれる。

東洋経済オンラインの元旦号に～2018年「40代が住みたくなる街」はこの4つだ～という記事が掲載されました。編集部が、単に便利というよりも「暮らしやすくなりそう」という視点で厳選した街に、日本橋浜町、溝の口、東急池上線沿線と並んで、我が調布が選ばれております。

調布が目された最大の理由は、駅前大きな広場を囲むように商業施設、映画館、市役所、市民ホール、総合病院、バスロータリーなどが集まるという空間構成です。海外には駅や市役所の前などに大きな広場があり、各種マーケットその他のイベントが行われることにより、住む人同士が出会える作りが多く、調布駅はそれに近い形だということです。

また、町づくりの現場で大事なことは、どれだけその町を好きで関わろうという人がいるかどうかであり、調布には町づくりに関わる企画会社が数社あり、その時点で愛されている町だと分かります。「調布は熱い」と記事は締めくくっていました。

巻頭言

大きな地震が来ます！！

富士見台地区協議会 会長 竹口裕

最近の地震の発生状況を観ていると、日本列島は4つのプレート(北米プレート・ユーラシアプレート・フィリピン海プレート・太平洋プレート)の上に乗っており、その各々が活発に動き始めています。

2011年3月11日に起きた「東北関東大地震」や2016年4月14日に起きた「熊本地震」等を観ていると、巷間いわゆる400年周期説もあながち否定はできません。

過去の地震の実績を観ると、1600年代ごろより発生の日や被害状況等比較的正確に記述されています。M(マグニチュード)等は推定ですがほとんどがM6以上です。400年近く前のことですが、江戸直下型地震(推定M6以上)が起きています。江戸城の石垣も崩れました。時期が少し離れて2度起きています。

更に過去の大きな地震の起こり方ですが、「南海地震」「東南海地震」「東海地震」「江戸(東京)直下型地震」等比較的短い間(1年～4年位の間に)発生しています。東京直下型地震については、30年以内に70%の確率で起こるとされています。30年以内とは、明日、来週、来月、来年かも知れません！！ 30年先ではないのです！！ 専門家によっては4年以内(2017年から)に70%の発生確率と言っている方もいます。70%の確率とは「確実に発生する！」事なのです。

この東京直下型地震の震源地は「東京湾奥湾」と言われていますが、今の予測技術では震源地をピンポイントで予測する事は出来ません。これが北に5～10Km ズレルと、そこは日本の国政の中心地です。大きな人的・物的被害のみならず、行政の指示機能も失われてしまう事が危惧されます。

その様な事態になった時の事を考えて、皆様におかれては、自分の身は自分で守る様に心がけ、食料や生活必需品の備蓄(3日分では足りない！最低1週間分ほど)をお願い致します、

避難生活が自宅で出来ない時は、避難所(小学校・中学校・高校等)に避難して下さい。自分の身の安全を確保した上で、ご家族の安全・ご近所の方々の安全を確認して、みなで揃って来て下さい。

その時持って来るものは、「数日分の食料・飲み水」「常備役」「トイレトーパー」「懐中電灯」等です。又「保険証・お薬手帳」はマスト(必須)です。これらはすぐに持ち出せる様にザックやバッグに詰めておいて下さい。なぜ避難所に持って行くのか？と思われるかもしれませんが、避難所に来てもすぐには「支援物資」は届かないのです！！ 又毛布等も有ると便利です。少し重いですが。(よくTV等で避難所の風景が映されると、何でも揃っている様に見えますが、これは被害が狭い所で起きた場合です、広域で巨大な被害が有る時はこの様にはいきません。)

避難所は誰が運営するのでしょうか。「市役所の方々が行く」⇒間違いです！

避難して来た方々で運営して頂くものです、最初は市役所の方々や地区協の方々が音頭を取りますが、その後は、避難して来た方々で行って頂きます、そのために自分の「特技」を避難所の受付で申請して下さい。「運営マニュアル」が有ります。難しいものではありません。

皆さん宜しくお願い致します！！！！！！

富士見台地区のエリアってどこ？



自治会紹介

小島町第8自治会

市役所通りと京王相模原線に挟まれ、「小島町ふれあいの家」を中心にしたエリアです。総世帯数は110戸で、昭和30年代と古くから住まわれている世帯から、3~4年前に住まわれた世帯(10数戸)、また共同住宅に居住の世帯(10戸)までと、幅広い構成になっています。

(会長 常谷雅彦)

小島町第4自治会

当自治会は市役所の西側で品川道に接し、世帯は130世帯前後、班数は16です。班長は1年替制とし、年度初めの顔合わせで面識を深めています。年度内には反省会を行い、次年度の活動事項を検討しています。活動内容は、春秋の防災訓練と安全パトロールで、防災防犯意識の高揚に努力しています。(会長 西山裕康)

小島町第9自治会

富士見台小学校をぐるりと囲む自治会です。250世帯を超え、班は20。ほとんどが住宅地でとても静かな地域です。活動内容は、隔週土曜日のラジオ体操(富士見台小の芝生)、地域交流イベントの開催(昨年は、包括支援センター花園との懇談会・クラシック超入門講座)、安全パトロールなどです。(会長 平田 満)

小島町第5自治会

市役所を含む小島町の中央部にあたる地域の自治会です。かつては1班から9班までありましたが、今では住民が居なくなった場所もあり、7つの班が活動しています。調布駅に近く、交通量の多い道に囲まれています。通りにから一歩入れば静かな住宅地で、160世帯程が暮らしています。(会長 春山正樹)

下石原第3自治会

当自治会では、春の親睦バス旅行に始まり、夏の納涼祭、秋のお祭りの三大事業を柱に会員の皆様とのコミュニケーションを図っています。お祭りでは、市内でも有名な六尺大太鼓やお囃子が来て盛り上がります。会場では食べ物や飲み物を準備し、抽選会もあり、会員の思い出作りに貢献しています。(会長 尾形瀧雄)

小島町第7自治会

いざという時にみんなで助け合える自治会づくりを進めています。調布駅にも近く、便利でたいへん住みよい地域です。自治会独自の事業として、年に2回広報紙を発行しているほか、毎年応急救護訓練を実施し、AEDの操作や心臓マッサージ、三角巾の使い方などを学んでいます。(会長 荒井志郎)

多摩川自治会

こんにちは！多摩川自治会です。京王多摩川駅周辺より東側に布田小学校手前まで広がる自治会です。会員数は約千所帯程あります。8月には「盆踊り」を京王多摩川駅前の「さくら広場」で行い、10月には「祭礼」を行っています。又毎月第3月曜日朝9時より町内清掃を行っています。(会長 湯田茂子)

調布南高校も避難場所ですが、生徒もおり、東京都の指揮下で運営されます